

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 個々の生徒の能力、適性、興味、関心や進路希望に応じた主体的な学習を促し、きめこまかな指導の実践により、生徒の進路希望の実現を図る。</p> <p>2 基本的な生活習慣を身につけ、自らを大切にし他人を思いやる心をもつ生徒を育てる。</p> <p>3 教職員、生徒が希望、情熱、愛情、信頼をもって一体となる、特色ある、活力にあふれる学校づくりを進め、保護者、地域から信頼を得る。</p> <p>4 学校評価、教職員評価システムによって、自己点検、評価を行い、教育活動の改善を目指す。</p>	<p>1 「にしおつスタディカップ」や調査前の「学習強化週間」の取り組みも一定の成果が見られた。また、土曜講習、長期休業中の講習、学習合宿にも多くの生徒が参加し、意欲的に取り組んだ。しかし、学校全体としては、生徒の自主的な学習時間の増加には繋がっていない。生徒の主体的な学びを促すためには、ICT等を活用した授業改善の取組が喫緊の課題である。</p> <p>2 部活動の加入率・定着率に課題があり、学校全体として活気ある集団とはなり得ていない。部活動活性化のための新たな取組が必要である。 規範意識の向上と道徳心の育成については、全教職員が取り組み、一定の成果が見られた。スマートフォン等の使用に関するルールやマナーの徹底、交通安全、環境美化等に関する課題については、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>3 進路指導については、学年部と進路指導部、各教科との連携が図られ、個々の生徒に対して丁寧な指導を行った。</p> <p>4 広報活動については、説明会の実施、ホームページの更新、広報誌の定期的な発行と中学校訪問を通して、本校の教育活動を外部へ発信したが、志願者の増加には至らなかった。今後も、さらに地域の中学校等との連携を深め、本校の良さを積極的にアピールしていく必要がある。</p>	<p>1 生徒の主体的な学びによる学力の向上と夢実現 ・ICTの積極的な活用等により授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、生徒の学習意欲を高める。さらに、クラウドサービスを利用した学習支援システム（Classi）を活用し、生徒の主体的な自学自習時間を増加させ、希望進路実現に向けた学力向上を図る。</p> <p>2 豊かな人間性と規範意識の醸成 ・部活動の活性化を図り、加入率・定着率を高め、学校全体として活気のある集団を形成することにより、生徒の心身の健全なる成長を図る。 ・ユネスコスクールとして、国際教育等の取組をさらに充実させ、持続可能な開発のための教育を推進する。 ・生徒がはじめのある学校生活を過ごすことで、規範意識の向上と公德心の育成をめざし、全教職員で一致した指導を図る。</p> <p>3 広報活動による情報発信の充実を図る。 ・学校説明会、学校HPや「西乙だより」の内容をさらに充実させるとともに、さまざまなツールを積極的に活用し、中学生や保護者にタイムリーな情報提供を行い、志願者の増加を図る。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策（取組計画）	評価	成果と課題
組織・運営	◇分掌間・教科間の協力推進	○教職員全体が課題改善に向けた連携と調整を図る。 ○ICTの活用により、情報の共有化と業務の効率化を推進する。		
学習指導と進路指導	◇授業改善	○ICTの積極的な活用により授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、生徒の学習意欲を高める。		
	◇学力の向上	○「Classi」の活用により、生徒の主体的な自学自習時間を増加させ、学力向上を図る。 ○土曜講習、長期休業中の講習の充実を図り、実践力の養成を支援する。		
	◇国際教育の推進	○国際関係者会議を中心に、学校全体としての取組をすすめる。 ○ユネスコスクールとして、国際教育等の取組を推進し、持続可能な開発のための教育を推進する。 ○海外研修旅行等を通じて、生徒の主体性を引き出し、成功させる。 ○アーリントン高校、シャコピー高校等との国際交流活動を充実させる。		
	◇希望進路の実現	○進路指導部と学年部の連携を密にし、進路希望に応じた指導を徹底し進路決定率100%を目指す。 ○大学見学会や学年の進路行事、進路HRを充実させ、その活動をポートフォリオ等に記録し、主体的に学ぶ意欲を喚起する。		
	◇図書視聴覚教育の充実	○他分掌や各教科との連携を密にし、図書室や視聴覚教室の利用を促進する。 ○新着本等の紹介やディスプレイを工夫し、生徒の読書意欲の向上と図書館利用の促進を図る。 ○図書委員会活動の活性化を図り、生徒の自主的な活動を支援する。		
生徒指導と特別活動	◇規範意識の醸成	○遅刻指導を徹底し、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○頭髪、服装指導等の生徒指導を全教職員で一致して行う。 ○各学期に状況調査を実施し、授業規律確保のための指導を徹底する。 ○生徒の自律を促すことで、生徒がスマートフォン等を適正に使用できるようにする。		
	◇特別活動や部活動の充実	○部活動や学校行事に積極的に取り組ませることで、活気のある集団作りとリーダー育成を図る。 ○部活動体験期間の充実を図り、部活動部員対象行事を設定する等により、部活動の加入率と定着率を高める。		
	◇交通安全指導の推進	○地域、PTAとも連携し、定期的に登下校時の安全について啓発する。特に、自転車利用者の登下校時における通学安全指導を強化する。		
	◇人権教育の推進	○人権学習を通じて生徒の人権意識を高めるとともに、あらゆる教育活動において人権感覚を養う指導を行う。		
健康安全	◇環境・美化の推進	○日常の清掃活動への指導をきめ細やかに行い、ゴミの分別の徹底や保健委員会による環境美化活動等により、学校全体の意識向上を図る。		
	◇生徒の実態把握と支援の充実	○保健調査等により生徒の健康実態を把握し、関係者間の連携を密にして、生徒の健康管理を行う。 ○スクールカウンセラー及び地域の専門機関との連携により、教育相談、特別支援の機能を充実させる。		

評価領域	重点目標	具体的方策（○取組計画・◇評価指標）	評価	成果と課題
魅力ある 学校づくり	◇広報活動の充実	○学校説明会の内容を充実させ、個別相談会や中学校教員向け説明会等で本校の特色を発信する。 ○HPのリニューアルやこまめな更新、広報誌の配布等により、中学生や保護者に積極的に情報発信を行う。 ○地域への情報発信と新たな地域の開拓により、志願者数を増加させる。		
	◇安心・安全な学校環境づくり	○ICT教育推進のため、教員と連携し、機器の選定、購入計画を進め、環境整備を行う。 ○施設・設備の安全点検を日常的に行い、危険箇所の早期発見、改善に努める。		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善 の方向性	
-----------------------	--